

# 発足のきっかけ

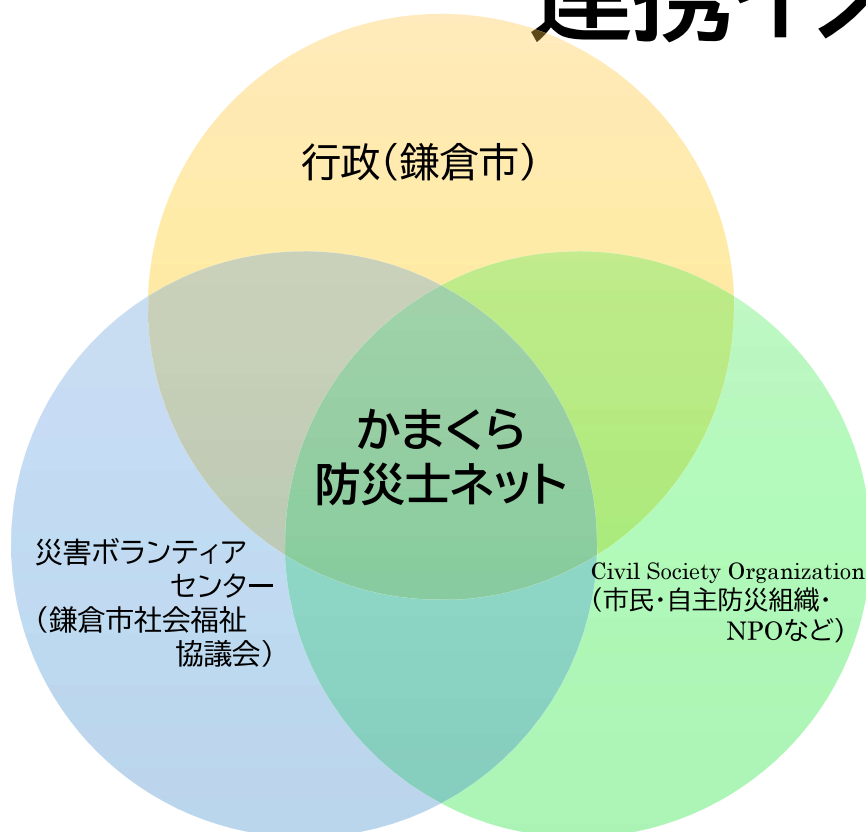
近年、災害が多発・激甚化する中、行政や社会福祉協議会(災害ボランティアセンター)と市民社会組織(Civil Society Organizations)などの三者連携が求められています。

鎌倉市においても2019年の台風15号、19号で大きな被害を受け、自衛隊の派遣要請や避難所の開設を行いました。この時、避難所には一時1,300人もの市民が避難しました。しかし、この三者連携はほとんど取られず、今後の災害対応に大きな課題を残しました。

日本防災士機構の認証する防災士は、全国に262,166人(2023年8月末現在)おり、地域防災の担い手としてニーズが高まっているにも関わらず、鎌倉市内では地域の中に埋もれてしまっている現状があります。

私たちは、来たるべき災害に備え鎌倉に在住・在勤の防災士の顔の見える関係作りや三者連携のサポートなど地域防災を担う市民団体として2020年より活動を行っています。

## かまくら防災士ネット 連携イメージ



# 松尾崇 鎌倉市長激励の言葉



防災活動における自助・共助、公助はどれも大切ですが、過去の大災害の経験などを踏まえて、近年は「共助」が重要視されています。

鎌倉市では「共助」の中心である地域の自主防災組織を中心に避難所マニュアルの作成や、災害時の避難行動要支援者対策に積極的に取り組んでいただいているところです。

そのような中、“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高めるための十分な意識と一定の知識・技能を修得している防災士は、地域防災力向上の担い手として期待されているところです。

行政だけで効果的な防災対策を進めることは限界があります。自助・共助・公助の役割分担と連携によって初めて災害に強いまちづくりが可能となること、これは阪神・淡路大震災やそれ以降の大規模災害の教訓からも明らかであることから、地域防災を担う市民団体である「かまくら防災士ネット」様の活動は本市にとって大変重要であると考えています。

「かまくら防災士ネット」様におかれましては、これまでも様々な活動を通じて本市の地域防災力の向上のためご尽力いただいておりますが、今後もその活動の一層の充実が図られ、本市の地域防災力向上の推進役になっていただくよう大いに期待しています。

## かまくら防災士ネットの活動

### 1. 防災・減災に関する **ネットワークづくりと連携。**

- ・顔のみえる関係づくり
- ・現状と課題の把握及び共有
- ・行政や社会福祉協議会との連携と協働
- ・自治会・町内会・自主防災組織との連携
- ・医療・福祉・教育分野との連携
- ・全国の災害ネットワークとの連携

～ **5つの柱** ～

### 2. 防災・減災に関する **情報の収集と提供。**

- ・防災・減災に関する情報の収集
- ・SNS等を活用した情報の発信

### 3. 防災・減災に関する **調査・研究及び学習会・講演会等の開催。**

- ・防災・減災に関する調査及び研究活動
- ・学習会・講演会等の開催と開催の支援
- ・防災・減災教育の支援(こどもや教育現場を含む)
- ・自助・共助・近助「地域防災・減災力(自治会・町内会)向上」のための研究と支援

### 4. 大規模災害時の **避難や避難生活(避難所等)についての調査・研究及び支援。**

- ・配慮の必要な人の避難のあり方に関する研究
- ・避難所や福祉避難所、分散避難・在宅避難等々の研究及び支援

### 5. **災害ボランティアセンターへの支援と災害被災地支援。**

- ・行政・社協・NPO・地域住民・ボランティアとの協働による支援
- ・市外・県外の災害被災地へのボランティア活動支援とその情報提供
- ・災害被災地ニーズの情報提供と支援

# 学校との連携

## 小中学校での防災授業

鎌倉市内の小・中学校の総合学習の時間に、かまくら防災士ネットの会員が講師を担い、地域住民の協力を得ながら、児童・生徒への防災教育に取り組んでいます。

### 1. 鎌倉市内の小学校「防災授業」の例

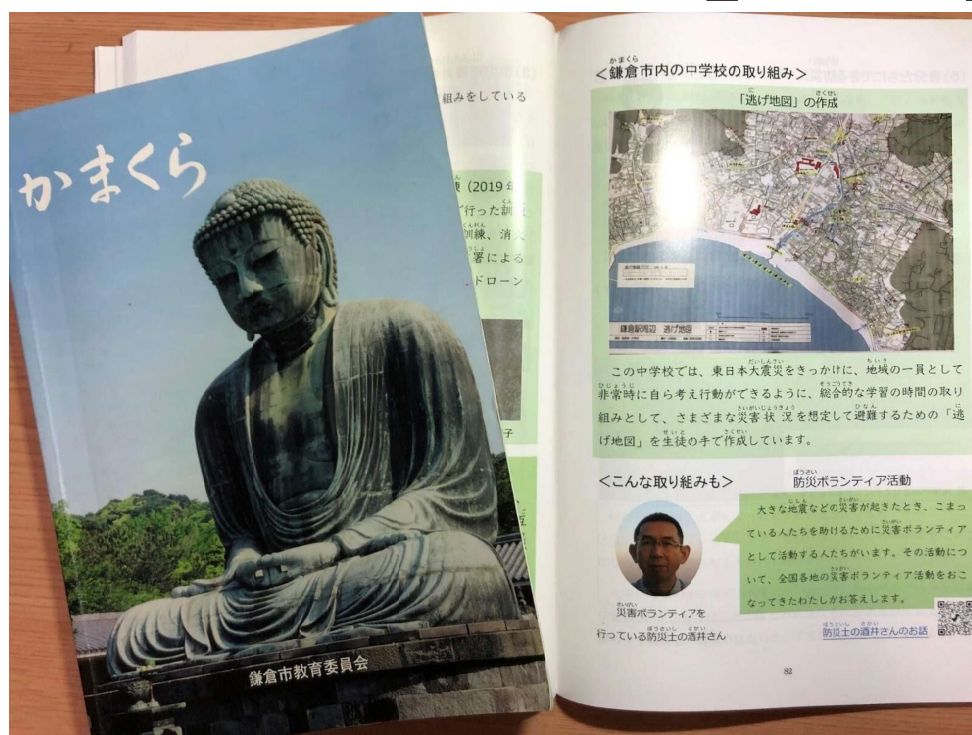
- ・学区内に起きそうな自然災害について学ぶ。
- ・命を守る行動と避難について学ぶ。
- ・避難が難しい人について学ぶ → 福祉授業につなげる
- ・防災クイズで学ぶ。

### 2. 鎌倉市内の中学校「防災授業」の例

- ・自然災害の種類を学び、学区に起きそうな災害を学ぶ。
- ・命を守る行動と避難について学ぶ。
- ・学区内の災害危険箇所を地域住民と歩き、目で見て学ぶ。
- ・地域の災害ハザードマップから、学区内災害マップを作成する。
- ・学校を避難所に見立て、生徒が「避難所設置・運営」を体験して学ぶ。



# 教科書副読本 「かまくら」への協力



小学校3・4年生の社会科の防災授業で使用される教科書の副読本「かまくら」に協力しています。

# 地域との連携

## 市民を対象とした 「防災・減災講座」



かまくら防災士ネットでは、2021年度から毎年、鎌倉市教養センターで「防災・減災講座」を行っています。

基本的な防災・減災から、最新の防災課題まで防災士ネットのメンバーが週替わりで講義しています。

受講者は、65歳以上の市民が対象の講座ですが、毎年多くの受講者がとても熱心に防災を学んでいます。

- 2022年度の講座内容から
- 第1回 近年の自然災害について
  - 第2回 気象現象と予報・警報について
  - 第3回 避難所とトイレについて
  - 第4回 自然災害とボランティアについて
  - 第5回 鎌倉の災害想定
  - 第6回 災害医療について
  - 第7回 地域防災について
  - 第8回 まとめ



# 避難所マニュアル作りへの 参加・協力

鎌倉市内の各小学校では、地域住民を中心に行政や福祉関係者などが協力して学校ごとの避難所マニュアルづくりを進めています。  
かまくら防災士ネットのメンバーも積極的に協力しています。

写真は、避難所マニュアルを作成した小学校区で実施されたマニュアルを検証するために実施した防災訓練のものです。  
地域の住民が積極的に関わっていて、更なる防災体制の向上が期待できます。



## 福祉・介護の専門職と連携した 「地域防災」

地域住民(個人)や、自治町内会・民生委員児童委員などの組織、ケアマネジャーなどの専門職、地域で活動しているボランティアなどと連携を図り、地域防災の向上に取り組んでいます。

### 1. 防災士による「防災・減災」に関する講演会等開催の例

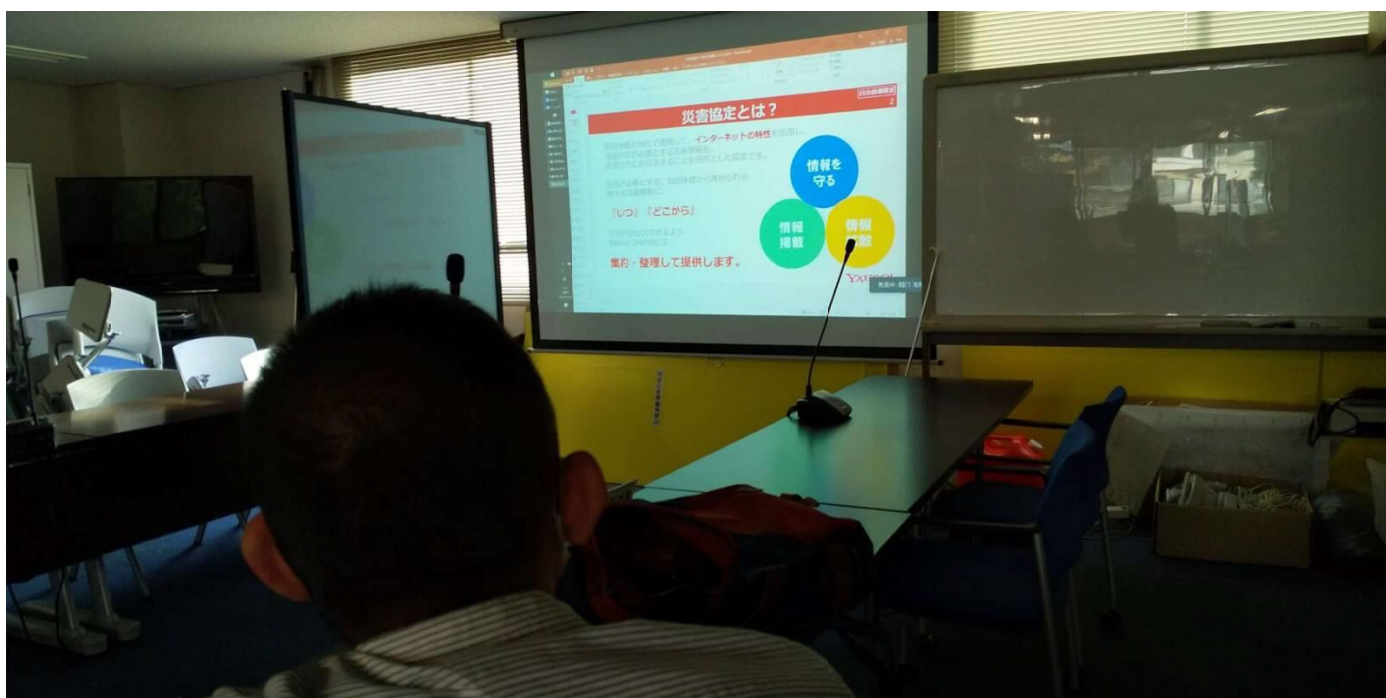
- ・自治町内会等に出向いて「防災・減災」に関する研修を担当。
- ・ボランティアグループを対象とした防災講座の講師を担当。
- ・マンションで「誰一人取り残さない防災」に参画。
- ・教養センター「～防災士から学ぶ～防災・減災」を担当。
- ・地域の民生委員児童委員を対象とした地域防災に関する研修を担当。
- ・老人福祉センターで高齢者向け「防災・減災」の講座を担当。

### 2. 福祉・介護専門職との連携による「地域防災」の取り組みの例

- ・地域包括支援センターを対象とした地域防災に関する研修を担当。
- ・地域包括支援センターのBCP作成と個別避難計画の研修を担当。
- ・介護支援専門員(ケアマネジャー)を対象とした防災基礎講座を担当。
- ・介護支援専門員(ケアマネジャー)を対象としたBCP作成と個別避難計画の研修を担当。

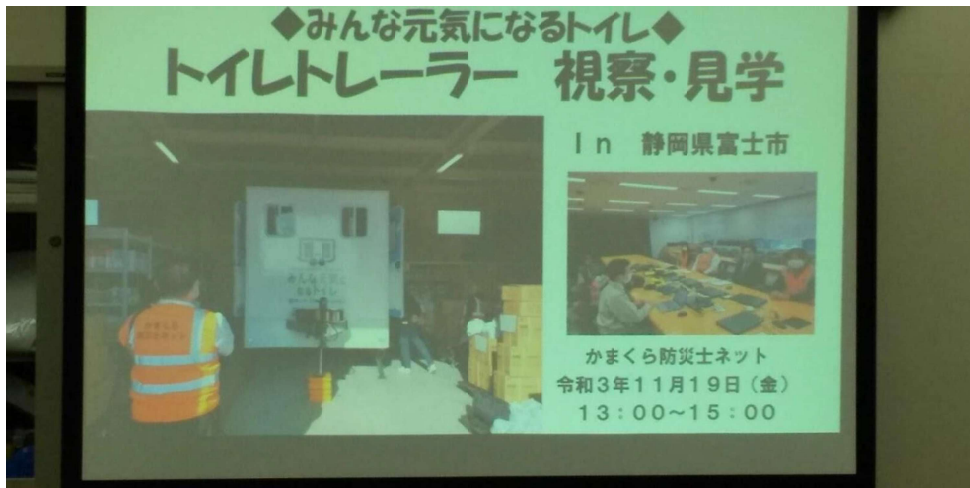
# 行政との連携

## 市長・総合防災課との 定期的な意見交換会



# 『みんな元気になるトイレ』 視察に同行

鎌倉市で導入を検討している  
「みんな元気になるトイレ」  
実写のある富士市へ、鎌倉市総合防災課と一緒に視察して  
きました。



## 総合防災訓練への参加・協力

鎌倉市の総合防災訓練に協力して、子どもたちへの防災教育を担当しました。

2022年度は、鎌倉市災害時非常無線通信協議会の方々と一緒に、トランシーバーを使った宝探しゲームを実施しました。

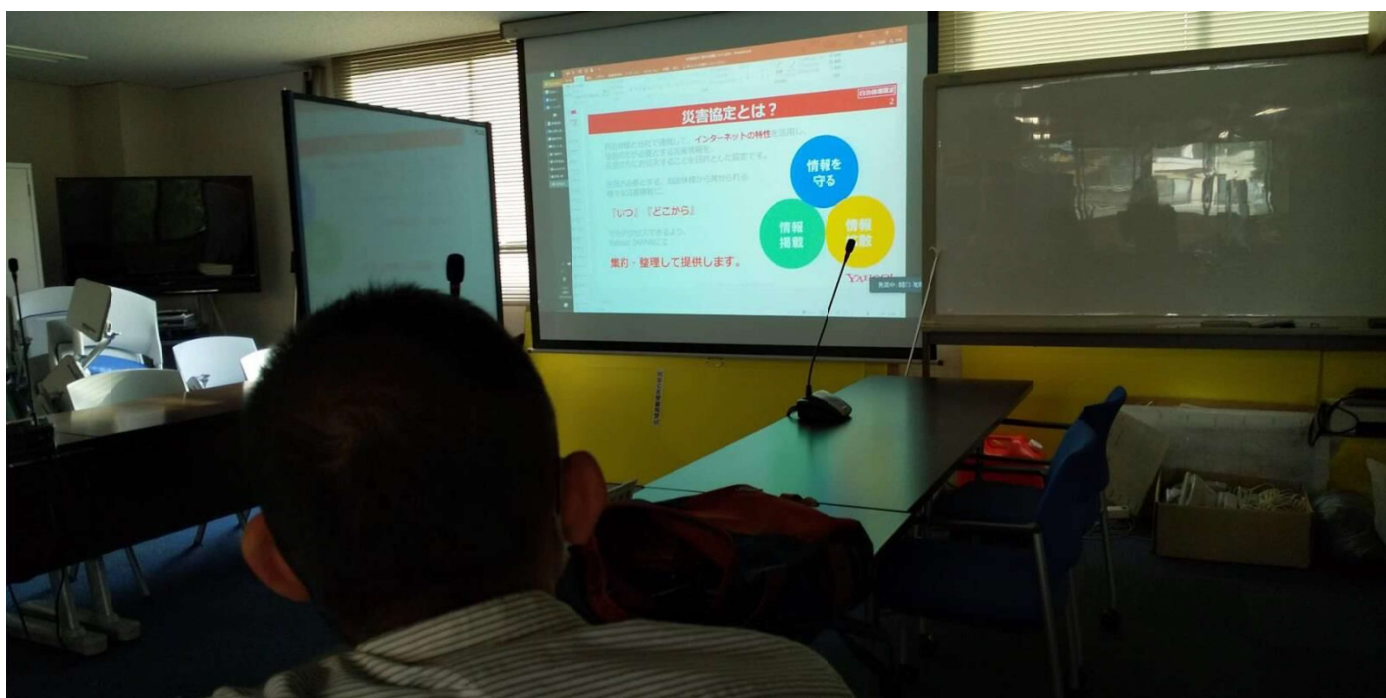




# 調査・研究

## ICT化への取り組み

ヤフー株式会社、サイボウズ株式会社といった企業ともICT化の取組みについて検討しています。



# 講師を招いての研修会

かまくら防災士ネットでは、毎月一度定例会を開催しています。  
様々な防災課題について意見交換を行うほか、  
専門家をお招きして、勉強会も逐次開催しています。  
コロナ禍で、Zoomを併用したオンライン会議も実施しています。



## かまくら防災士ネットでの 講演会等

- ・ペット避難について 鎌倉市との意見交換(2021.12.8)
- ・災害時のICT活用について サイボウズ・ヤフー・VACAN
- ・湘南獣医師会副会長 関根秀子先生(モナ動物病院)講演(2021.10.5)
- ・長谷川太郎医師講演「災害時のトイレのお話し」(2021.10.26)
- ・社会福祉協議会(河野さん)講演「災ボラに関する鎌倉市の現状について」  
(2022.4.22)
- ・羽太千春先生講演(看護師・助産師)「災害時の妊産婦・母子支援」(2022.5.31)
- ・鎌倉市肢体不自由児者父母の会会長 国分哲男さん講演 (2022.7.8)
- ・防災塾だるま塾長 鷲山龍太郎先生(元校長)講演 (2022.9.26)
- ・鎌倉市身体障害者福祉協議会会長 木村康洋先生講演 (2022.10.28)
- ・鎌国ドローン協会会長 青柳正紀さん講演 (2023.5.15)
- ・鎌倉市聴覚障害者協会会長 春吉秀雄さん講演 (2023.6.27)

# これからの活動

## 防災イベントの計画・実施

### 1. 東日本大震災被災地訪問

2023年11月 宮城県石巻市、女川町を訪問予定



### 2. 講演会の企画

『(仮)西日本豪雨被害を経験して ～岡山県倉敷市～』

日時: 令和6年1月13日(土) 午後(詳細時間調整中)

場所: 鎌倉市福祉センター2階 鎌倉市御成町20番21号

内容: 西日本豪雨で、岡山県倉敷市真備町で起きたことを、  
現地の方を招いてお聞きする。(タイトルは調整中)

演者: 岡山県倉敷市社会福祉協議会の職員(予定)

共催: 鎌倉市ボランティア連絡協議会・鎌倉市社会福祉協議会  
かまくら防災士ネット

# 災害時要配慮者の 地域防災の取り組み

災害時に避難がしづらい高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児など、何らかの配慮が必要な方々に関する地域防災に取り組んでいきます。



## 災害時要配慮者部会の取り組み

- ・かまくら防災士ネットに「要配慮者部会」を編成し、高齢者や障がい者の避難にについて、当事者を交えて考える場を設定。
- ・災害被災地から、災害を実際に経験した方を招いた勉強会を企画していきます。  
(詳細はイベント欄)

続く未来のため  
一緒に始めよう

8

仲間を募集中

かまくら防災士ネット